

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2004-320215(P2004-320215A)
【公開日】平成16年11月11日(2004.11.11)
【年通号数】公開・登録公報2004-044
【出願番号】特願2003-109043(P2003-109043)
【国際特許分類第7版】

H O 4 N 5/91
H O 4 N 5/44
H O 4 N 5/45
H O 4 N 5/907

【F I】

H O 4 N 5/91 Z
H O 4 N 5/44 A
H O 4 N 5/45
H O 4 N 5/907 B

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月24日(2004.12.24)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

映像を表示する表示手段と、
上記表示手段に表示されている上記映像の映像データを順次更新しながら一時記憶する記憶手段と、

所定の第1の外部操作に応じて、上記記憶手段に記憶された上記映像データを所定の外部記憶媒体に書き込むと共に、所定の第2の外部操作に応じて、上記外部記憶媒体に書き込んだ上記映像データを読み出す読書き手段と、

上記読書き手段により上記外部記憶媒体から読み出された上記映像データに基づく映像を上記表示手段の画面に表示させる表示制御手段と
を具えることを特徴とする映像表示装置。

【請求項2】

上記外部記憶媒体の書き込み可能回数は、上記記憶手段の書き込み可能回数より少ないことを特徴とする請求項1に記載の映像表示装置。

【請求項3】

上記外部記憶媒体は着脱可能な外部メモリにより構成され、装着された上記外部メモリに関する各種情報が上記表示手段の画面に表示されることを特徴とする請求項1に記載の映像表示装置。

【請求項4】

上記各種情報には、少なくとも上記映像データを記憶することができる上記外部メモリの記憶残量、若しくは、上記第2の外部操作に応じて上記外部メモリから読み出される上記映像データの読み出し位置に対応する情報が含まれていることを特徴とする請求項3に記載の映像表示装置。

【請求項5】

上記読書き手段は、

上記映像データを、所定の圧縮フォーマットにより圧縮して上記記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の映像表示装置。

【請求項 6】

上記読書き手段は、

上記映像の映像データを順次更新しながら圧縮して上記記憶手段に一時記憶することを特徴とする請求項 5 に記載の映像表示装置。

【請求項 7】

上記第 1 の外部操作が行われた場合に、

上記表示制御手段は、上記第 1 の外部操作が行われたときの 1 フレーム分の映像データを少なくとも上記表示手段の画面の一部に表示させることを特徴とする請求項 1 に記載の映像表示装置。

【請求項 8】

上記読書き手段は、

上記第 1 の外部操作に応じて、上記記憶手段に記憶された上記映像データを上記外部記憶媒体に書き込む間、上記第 1 の外部操作に対する応答を禁止することを特徴とする請求項 1 に記載の映像表示装置。

【請求項 9】

上記読書き手段は、

上記第 1 の外部操作に応じて、上記記憶手段に記憶された上記映像データを上記外部記憶媒体に書き込んだ後に、上記第 1 の外部操作に対する応答の禁止を解除すると共に、上記第 2 の外部操作に応じて、上記外部記憶媒体に書き込んだ当該映像データを読み出すことを特徴とする請求項 8 に記載の映像表示装置。

【請求項 10】

上記読書き手段は、

上記記憶手段に記憶された上記映像データを、所定の著作権保護方式に準拠した通信方式で上記外部記憶媒体に送信し、及び又は上記著作権保護方式に準拠したフォーマットで上記外部記憶媒体に書き込む

ことを特徴とする請求項 1 に記載の映像表示装置。

【請求項 11】

上記読書き手段は、

上記外部記憶媒体に書き込まれた上記映像データを、上記第 2 の外部操作に応じた読出しモードで読み出す

ことを特徴とする請求項 1 に記載の映像表示装置。

【請求項 12】

上記表示制御手段は、

上記表示手段の画面の少なくとも一部に、上記外部記憶媒体から読み出された上記映像データを、上記読出しモードに対応した表示モードで表示する

ことを特徴とする請求項 11 に記載の映像表示装置。

【請求項 13】

上記表示制御手段は、

上記記憶手段に記憶される上記映像データに基づく第 1 の上記映像と、上記外部記憶媒体から読み出した上記映像データに基づく第 2 の上記映像とを上記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 に記載の映像表示装置。

【請求項 14】

表示手段に表示されている上記映像の映像データを順次更新しながら一時記憶する第 1 のステップと、

所定の第 1 の外部操作に応じて、上記記憶手段に記憶保持された上記映像データを所定の外部記憶媒体に書き込む第 2 のステップと、

所定の第 2 の外部操作に応じて、上記外部記憶媒体に書き込んだ上記映像データを読み

出す第 3 のステップと、

上記外部記憶媒体から読み出された上記映像データに基づく映像を上記表示手段に表示させる第 4 のステップと

を具えることを特徴とする映像表示方法。

【請求項 1 5】

上記第 1 のステップでは、

上記映像データを、所定の圧縮フォーマットにより圧縮して記憶することを特徴とする請求項 1 4 に記載の映像表示方法。

【請求項 1 6】

上記第 2 のステップでは、

記憶した上記映像データを、所定の著作権保護方式に準拠した通信方式で上記外部記憶媒体に送信し、及び又は上記著作権保護方式に準拠したフォーマットで上記外部記憶媒体に書き込む

ことを特徴とする請求項 1 4 に記載の映像表示方法。

【請求項 1 7】

上記第 3 のステップでは、

上記外部記憶媒体に書き込まれた上記映像データを、上記第 2 の外部操作に応じた読み出しモードで読み出す

ことを特徴とする請求項 1 4 に記載の映像表示方法。

【請求項 1 8】

上記第 4 のステップでは、

記憶する上記映像データに基づく第 1 の上記映像と、上記外部記憶媒体から読み出した上記映像データに基づく第 2 の上記映像とを上記表示手段に表示させる

ことを特徴とする請求項 1 4 に記載の映像表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

デマルチプレクサ回路 8 は、供給されるデスクランブルテレビジョン放送信号 S 4 を符号化映像データ D 1、音声符号化データ D 2 及びサービスデータ D 3 に分離し、符号化映像データ D 1 をビデオデコーダ回路 9 に送出すると共に、符号化音声データ D 2 をオーディオブロック 1 6 のオーディオデコーダ回路 1 7 に送出し、サービスデータ D 3 をバス 1 0 を介してビデオブロック 6 全体の動作制御を司る M P U (Micro Processor Unit) 1 1 に送出する。